

平成 30 年度 事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日)

平成 30 年度の概況

平成 30 年度は、おかげ様で創立 20 周年を迎えました。これまでご利用者様やご家族様、地域の皆様、関係機関の方々よりご支援を賜り 20 年を迎えられたことに深く感謝いたします。

20 周年記念の事業について、ご利用者様と一緒に植樹やお祝いをいたしました。高瀬、楯山、山寺地区への山形交響楽団と山形舞子の出向記念事業は初めてのことでしたが、大きな反響をいただき、たいへん喜んでいただきました。20 周年記念誌は毎日の生活が明るく、笑顔あふれる日常を皆様に見ていただく一冊となりました。

さて、この一年を振り返ってみますと、介護事故や送迎車両事故が社会の中で大きくとりあげられました。当施設もご利用者様の安全確保を第一優先にとりくみ、大きな事故もなく、また感染症に罹患するご利用者もなかったことは施設としても安堵いたしました。

介護職員の待遇に関しては、夜勤手当の増額、介護職員実務者研修修了者で夜勤可能な職員に対して、正職員化し安心して働ける環境づくりに努めてまいりました。

施設整備につきましては、ナースコール交換、施設内の廊下床張り替えを実施し、明るく快適な環境を整えました。また、ご利用者の楽しみや癒しになるよう植栽を行い、美しい花々はご利用者様より喜んでいただきました。

山形市第 7 期介護保険事業において、ショートステイ 20 床のうち特別養護老人ホームへ 10 床転換について、2020 年 4 月からの事業予定が決定いたしました。

各事業部門報告

() は前年度数値

(1) 特別養護老人ホーム

ご利用者の健康管理、感染管理の徹底をはかり、入院者の減少、インフルエンザ罹患ゼロを達成することができました。また、トイレの利用回数も増え、おむつの使用率の減少につながりました。

居室から見える庭に、花々が植えられ、散歩する楽しみや新しい木製ベンチに腰掛け日向ぼっこする楽しみが増えました。

新調したナースコールがカメラ付きのため、コールを押した直後のご利用者様の様子がすぐわかり、事故防止につながりました。

内訳は利用者定員 80 人に対し、平均利用率 97.6% (97.1%)、平均要介護度 3.7 (3.7)、平均年齢 86.9 歳 (86.9 歳)、入退所の状況は年間 23 人 (28 人)、うち要介護度 1, 2 の特列入所 2 人 (1 人) となっています。 看取り介護 8 人 (9 人) 実施いたしました。

(2) 百花のいえ

お花見の季節に、寝たきりでなかなか外出できないご利用者も短時間でのドライブを計画し全ご利用者様 20 人が花見ドライブに行ってきました。また、「ご家族様との関り」に重点をおき、ご家族様と一緒に食事やお墓参りに出かけるなど、最後まで家族のあたたかさを感じていただけるようにしました。

内訳は利用者定員 20 人に対し、平均利用率 97.8% (96.0%)、平均要介護度 3.7 (3.7)、平均年齢 91.1 歳 (91.3 歳)、入退所の状況は年間 3 人 (7 人) となっています。看取り介護 1 人 (3 人) 人実施いたしました。

(3) ショートステイセンター

夕食の味噌汁をご利用者様と一緒に作り、家庭的な雰囲気を楽しんでいただきました。また、月 1 回の外食会や出前等を通して、地域との交流や外に出る楽しみづくりを行いました。

年間利用延人数は要介護者が 7,014 人 (7,610 人)、要支援者が 379 人 (512 人)、合わせて 7,393 人 (8,122 人) で利用率 101.0% (111.3%) でした。

(4) デイサービスセンター

デイサービスの役割として、お体の状態に合わせてご利用していただけるよう、3~4 時間の利用枠を増やし、機能訓練、機能回復をめざすご利用者様のニーズに答えました。

サンシャインクラブは冬季間の運動不足解消のための利用が増加したこと、他の圏域からのご利用者様の利用に繋がったため増加いたしました。

年間利用延人数は、一般型の要介護者が 5, 655 人 (6, 028 人)、総合事業 1, 843 人 (1, 939 人)、合計 7, 508 人 (7, 967 人) で利用率は 83.4% (88.5%) でした。

サンシャインクラブの年間利用延人数は、2, 457 人 (1, 843 人) でした。

(5) 居宅介護支援センター

介護支援専門員 2 名で活動を行いました。利用ニーズが 3 地区内では多くなく、利用件数の減少となっています。

毎月実施しています「サン茶イン」については、「外の看板を見て来てみた」とお話しして下さり、通る人々の目にとまっていることを実感しました。

サン茶インご利用人数 97 人(84 人) ケアプラン件数合計件 738 件(818 件)でした。

(6) シルバーハウジング

山形市から委託を受け、山形市大森住宅シルバーハウジング（高齢者世話付住宅）に居住する高齢者に対し生活援助員を派遣し、安否確認、生活相談、緊急時の対応等のサービスを提供しました。24 時間室内での活動がないと警備会社から電話連絡が入る仕組みになっています。会話する機会を多くして、ご利用者様の癒しになっていただければと、誕生日のメッセージカードをさしあげる活動をしました。

内訳は、安否確認が 3,849 件(3,711 件)、生活相談が 25 件(41 件)、緊急対応が 3 件(4 件)、誤報が 40 件でありましたが、理由は通報解除ボタンの押し忘れでした。

(7) 地域包括支援センター

総合相談支援では、定期的な各地区社会福祉協議会主催の福祉連絡会等での講演や助言者として参加しました。三者懇談会に参加して地域に対する支援体制構築を行いました。高瀬地区高齢者支援連絡会は、山形市内初の協議体として、地区の福祉体制の構築を考える場として活動を開始することとなりました。権利擁護では、お便りなどの広報や随時虐待が疑われるケースなどに対応をしました。包括的・継続的ケアマネジメント支援は、民生委員定例会に参加し、介護支援専門員連絡会や個別型地域ケア会議を開催するとともに、医療福祉などのネットワークづくりを行いました。

介護予防ケアマネジメントでは、元気☆もりもり教室を 2 回開催いたしました。サロンの立ちあげ支援では、新たに 3 か所の立ちあげをすることができました。

内訳は初回相談件数が 178 件(144 件)、相談後の連絡・調整が 5,669 件(6,654 件)、介護予防ケアプラン作成が 1,822 件(1,787 件)、総合事業支援が 244 件(272 件)でした。